

多量排出事業者による産業廃棄物処理計画 実施状況の報告

株式会社 ムラカミ

令和5年度



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 日

香川県知事 池田 豊人 殿

提出者

住 所 香川県高松市東ハゼ町877番地

氏 名 株式会社 ムラカミ

代表取締役 小西 正令

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 087-866-9165

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 ムラカミ
事業場の所在地	香川県高松市東ハゼ町877番地（高松市除く県内6ヵ所）
事業の種類	総合建設業 [0911]
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,421 t	全処理委託量	2,421 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,421 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 63.82 t

② 自ら直接
再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理
した量

⑤ ④のうち熱回収
を行った量

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ量

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量

⑧ 自ら中間処理した後
再生利用した量

⑨ 自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑩ 直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 63.82 t

⑪ ⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

項目	実績値
①排出量	63.82 t
②+⑧+自ら再生利用を 行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	63.82 t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	
⑫再生利用業者への処理 委託量	
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃石膏ボード)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 8.00 t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋入処分又は
海洋投入処分した量

③

実績値

① 排出量 / 8.00 t

②+⑧+自ら再生利用を
行った量

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減
量した量

③+⑨自ら埋入処分又は
海洋投入処分を行った量

⑩全処理委託量 / 8.00 t

⑪優良認定処理業者への
処理委託量

⑫再生利用業者への処理
委託量

⑬熱回収認定業者への処
理委託量

⑭熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処
理委託量

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋入処分又は
海洋投入処分した量

⑨

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理
した量

④

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

④のうち熱回収
を行った量

⑤

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 8.00 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 1642.61 t

② 自ら直接
再生利用した量

⑧ 自ら中間処理した後
再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理
した量

⑨ 自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ量

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量

⑤ ④のうち熱回収
を行った量

⑩ 直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

項目	実績値
①排出量	/ 1642.61 t
②+⑧+自ら再生利用を 行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	/ 1642.61 t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	
⑫再生利用業者への処理 委託量	/ 1642.61 t
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

有償物量

不要物等発生量

排出量
① 331.79 t

自ら直接
再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目	実績値
①排出量	/ 331.79 t
②+⑧+自ら再生利用を行なった量	
⑤自ら熱回収を行なった量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨+自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	
⑩全処理委託量	/ 331.79 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	/ 331.79 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥

自ら中間処理による
減量した量
⑦

自ら中間処理
した量
④

④のうち熱回収
を行なった量
⑤

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 331.79 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 331.79 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 398.88 t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

398.88 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

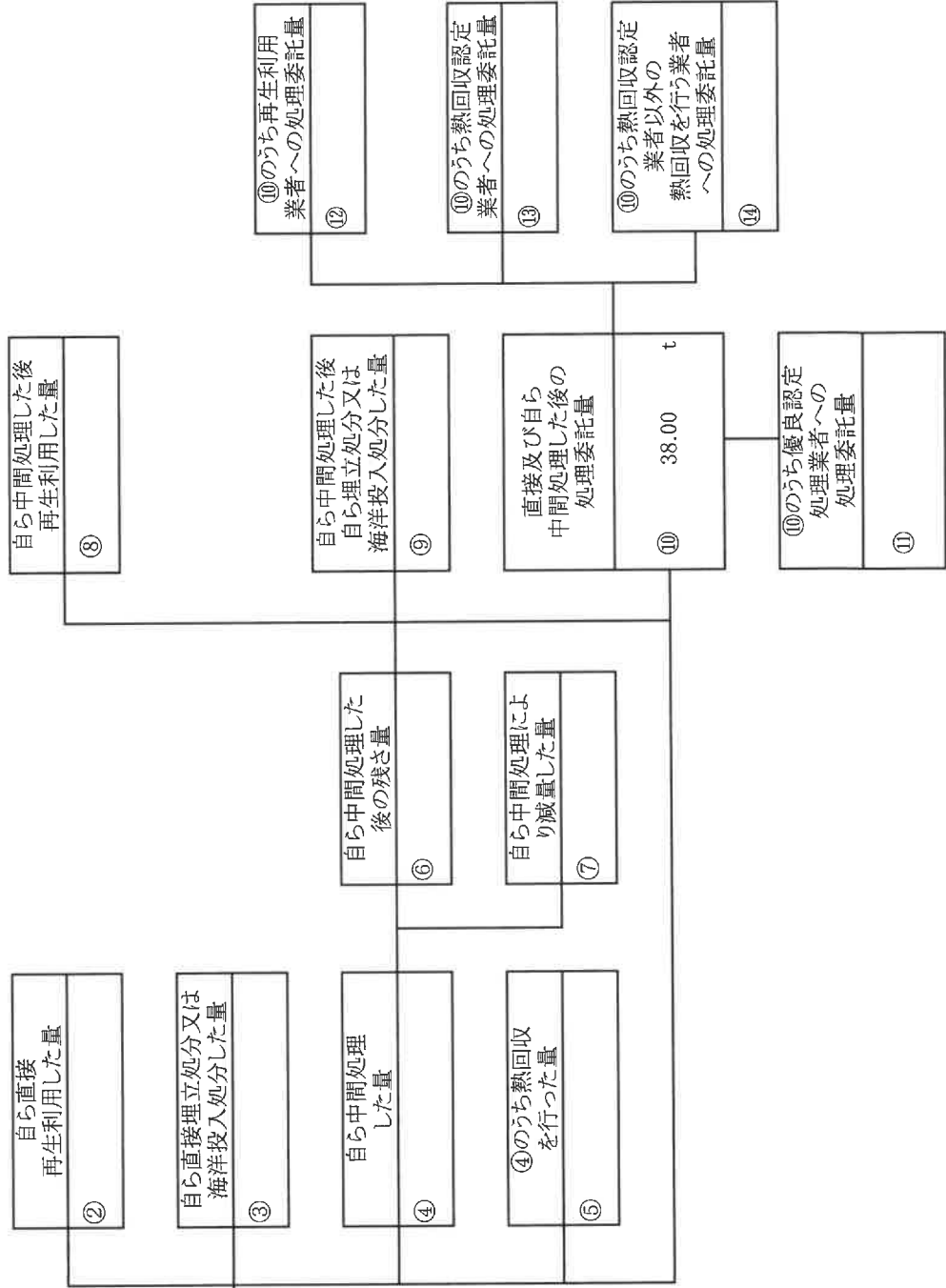
⑭

項目	実績値
①排出量	398.88 t
②+⑧+自ら再生利用を 行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	
③+⑨+自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	398.88 t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	
⑫再生利用業者への処理 委託量	
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

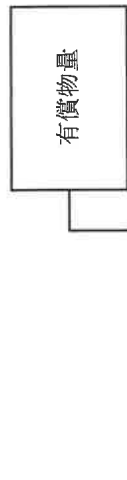
(産業廃棄物の種類: スレート(石綿含有))

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	① 38.00 t
実績値	38.00 t
①排出量	t
②+⑧+自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨+自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	38.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀・蛍光灯)



排出量	①	0.07	t
-----	---	------	---

自ら直接再生利用した量	②
-------------	---

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧
------------------	---

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③
---------------------	---

自ら中間処理した後の残さ量	⑥
---------------	---

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨
----------------------------	---

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫
-------------------	---

項目	実績値
①排出量	/ 0.07 t
②+⑧+自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④+自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	/ 0.07 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した量	④
-----------	---

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	0.07	t
---------------------	---	------	---

④のうち熱回収を行った量	⑤
--------------	---

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪
---------------------	---

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬
--------------------	---

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭
-------------------------------	---

	令和4年度 発生量の目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦自己中間 処理後直接 埋立処分又は 海洋投入量	⑧委託処分量		
		産業廃棄物 発生量	自己再生 再生利用量	自己直接埋 立処分又は 海洋投棄量	自己中間処 理量	自己中間処 理残さ量	自己再生 利用量	再生	中間処理 (再生以外)	最終処分	
	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	
廃プラスチック	塩ビ管	5.0							0.00		0.00
	クッション材	—	0.00								0.00
	土嚢袋材	—	0.00								0.00
	生活用品	—	0.00								0.00
	小計	5.00	0.00						0.00	0.00	0.00
金属くず	サッシ	—							0.00		
	鉄筋・鋼材	5.0	0.00						0.00		
ガラス	小計	5.00	0.00						0.00	0.00	0.00
	ガラス	5.0							0.00		
	石膏ボード	20.0	8.00						8.00		
	発泡スチロール	—	0.00						0.00		
	タイヤ・陶磁器	—	0.00						0.00		
がれき類	小計	25.0	8.00						8.00	0.00	0.00
	コンクリート殻	2,000.0	1,450.11						1450.11		
	アスファルト殻	50.0	2.00						2.00		
	その他	20.0	190.50						0.00	190.50	
	小計	2,070.0	1,642.61						1452.11	190.50	0.00
汚泥	掘削汚泥	—	63.82						63.82		
	削孔・舗装切断	—	0.00						0.00		
木くず	小計	—	63.82						63.82	0.00	0.00
	伐採木	—	0.00						0.00		
	型枠材	—	0.00						0.00		
	古木	150.0	331.79						331.79		
	小計	150.0	331.79						331.79	0.00	0.00
紙くず 繊維くず	ダンボール	—	0.00						0.00		
	用紙類	—	0.00								
	生活用品	10.0	0.00						0.00		
	小計	10.0	0.00						0.00	0.00	0.00
	(石綿含有)	5.0	38.00						0.00	0.00	38.00
建設混合廃棄物	小計	5.0	38.00						0.00	0.00	38.00
	可燃物	—	0.00							0.00	
	不燃物	—	0.00						0.00		0.00
	無分別	50.0	398.88							398.88	
	小計	50.0	398.88						0.00	398.88	0.00
厩	小計	50.0	0.00							0.00	
	小計	50.0	0.00							0.00	
	燃えがら	50.0	0.00							0.00	
	小計	50.0	0.00							0.00	
	小計	1.0	0.07							0.07	
水質利用製品系廃棄物	小計	1.0	0.07							0.07	
	合計	2,421.0	2,483.17						1,855.72	589.45	38.00
									合計	2,483.17	t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。